協定旅ホ連との関係

新たな価値を旅ホ連と「両輪」の関係変わらず

坂巻　堀坂

坂巻　旅ホ連（東武トップツアーズ協定旅館ホテル連盟）とは対等の関係の中で、いかに歩調を合わせて新たな価値を生み出すかだ。

目的を明確に、そして一緒になってやっていこう、という姿勢を打ち出すことが重要だ。

旅館・ホテルの皆さまとは、単に「送る」「送られる」という関係ではなく、地域が抱えている問題を共に考えるなど、深い関係を築いていかねばならない。

私どもは旅ホ連の若手経営者と毎年1回、東日本と西日本でそれぞれ懇談会を開いている。その中で、旅ホ連の本部の役員からは会議の席では絶対聞けないようなご意見をいただくこともある。最初は「なんだ」「今までの歴史を何だと思っているのか」とも思ったが（笑い）、いろいろと話をしているうちに見えてきたことがたくさんあった。われわれはしっかりと受け止める必要がある。

今までは「やあ、よろしく」「また頼みます」みたいな感覚もあったのだが、だんだん通用しなくなってくる。より具体性をもって対応することが必要だ。

堀坂　われわれは日旅連（日本旅行協定旅館ホテル連盟）の「営業推進委員会」「日旅連塾」などを通して、若手経営者とは以前から交流している。坂巻さんのお話ではないが、たまに驚くような話も出るが、お互い胸襟を開いて積極的に対話を進めている。

われわれは近年、地方創生事業に力を入れている。旅館・ホテルの皆さまはそれぞれ地域の有力者だ。地方創生に取り組む上でも日旅連は非常に重要なパートナーだと認識している。

時代の変遷の中で、経営が立ち行かなくなったり、後継者がいなかったりで、旅連から抜けられた会員がいる半面、近年はシティホテルの会員が増えている。新たな組織の在り方を考える必要もあるが、われわれと旅連は車の両輪であることはこれからも変わりはない。

■　■

――社長のプライベートをお聞きしたい。まず、昨年6月に社長に就任し、座談会初登場の米田社長から。

米田　40年ぶりの東京。休日はよく、都内を歩き回っている。

先日は神宮外苑のイチョウ並木を歩いた。五輪会場の新国立競技場もできており、庭などもきれいに整備されていた。あのエリアは実に東京らしいと感じた。新鮮な発見があり、これからもさまざまなところを見て回りたい。

東京は学生時代の4年間いただけ。なので、電車はまだ山手線が最初に頭に浮かぶ（笑い）。地下鉄に乗れば早く行けたのにと、後で気付いたりする（笑い）。

あとは、クラブツーリズムの旅行に参加したりする。先日は富山で「おわら風の盆」を見た。クラブツーリズムがイベントを仕立てて、全国からお客さまを集めている。これこそ総合旅行業のなせる業だと思った。宇奈月温泉に立ち寄り、トロッコ列車にも乗ったが、訪日客も増加傾向とのことで、今後の地方分散化に期待できると実感した。

高橋　タウンウオッチングを兼ねたウオーキングを相変わらず続けている。

この輸送にあたり、われわれの先輩社員が添乗員として、荒れる日本海を何十往復もした。先日、その社員の名刺を持った当時のユダヤ避難民女性の娘さん姉妹がわざわざ弊社まで来て、80年の時を超えてその名刺を渡してくれた。

このような、まだあまり知られていないが、ストーリー性のある場所が日本にはたくさんある。

堀坂　私は体を動かすこと。老体にむち打って（笑い）、最近はよく泳いでいる。

各地を巡ったりもしている。仕事でも巡っているが、それだけでは回り切れないので、休日を使っている。

DCのとき、われわれは団体臨時列車を仕立てるのだが、できるだけ乗るようにしている。熊本の話ばかりをするようだが、DCの臨時列車から被災した熊本城を見たときは、涙が出た。20年は天守閣がほぼ原形に戻ると聞いている。最近は復旧の過程を見るツアーも各地で行われている。災害について考えたり、新たな需要を創出する、ツーリズムの一つの形といえる。

坂巻　古地図を見ながらの街歩きや、アイドルのコンサートなど（笑い）、いろいろ続けているが、最近は当社が「神田明神文化交流館」の運営に関わっている関係で、そこで上演されている演目を見たり、各地で日本の伝統芸能を鑑賞したりしている。

下の娘が仕事で北海道に住むようになってから、馬が好きになったといい、東京に帰ったときに馬しかいない動物園に私と一緒に行くようになった。

――どういうところ？

坂巻　大井とか、浦和とか、中山とか。

一同　（笑い）

坂巻　馬が走る姿を見ると、とても癒やされる。娘は最前に行って写真を撮ったりしている。

妻は日本全国温泉巡りを始めて、地図に自分が行った温泉地の印を付けている。「連れていけ」というアピールが非常にあるので（笑い）、最近よく行っている。温泉は心のリフレッシュになるし、夫婦間のリフレッシュにもなる。

一同　（笑い）

それとは別に、最近、感銘を受けた場所がある。「命のビザ」で知られる杉原千畝の記念館だ。名古屋から車で1時間半ぐらいの岐阜県八百津町にある。日本ではあまり知られていないが、世界中のユダヤ人が聖地詣でのように、千畝さんに敬意を表して年間数千人単位で来られている。

わが社にも少なからず縁がある話で、リトアニアで千畝さんからビザを発給されたユダヤの人々は、シベリア鉄道でウラジオストクへ行き、そこから船で敦賀へ、そして敦賀から神戸や横浜へと避難をしていった。その船や国内の輸送を請け負ったのが当時のJTBだった。ちなみに敦賀にも人道の港・ムゼウムがあり、多くの人が訪れている。

令和2年 旅館の経営指針

世界ブランド発想

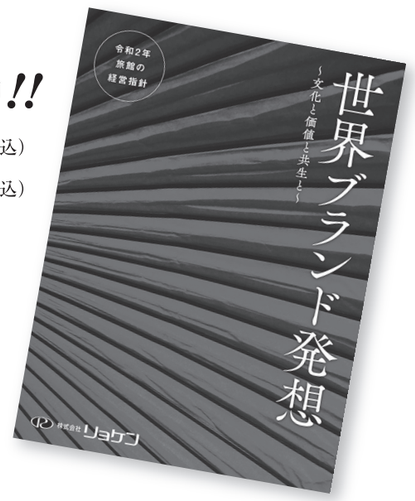
～文化と価値と共生と～

ご購入お申込み受付中!!

【販売価格】1冊～9冊　@3,300円（税込）
10冊以上　@2,970円（税込）

※送料は全国一律520円（税込）
※5冊以上ご購入の場合は、送料無料となります。

ホームページからもご購入いただけます
リョケン で 検索



元気印の旅館紹介　昨年商品整備を実施された元気な旅館をご紹介します。

鳥取県/皆生温泉
皆生 游月
フロントオーシャンビューの「次世代・ハイブリッド型RYOKAN」。立地を最大に活かした施設が誕生

石川県/山代温泉
ゆのくに天祥
コンベンションホールと食事処の改装を実施。商品力アップと労働効率の向上を図りニーズに合わせた施設転換を実現

三重県/伊勢志摩　賢島温泉
汀渚 ばさら邸
開業12年で全施設のリニューアルが完了。ダイニング全面リニューアルと既存客室の整備

長野県/白樺湖
白樺リゾート 池の平ホテル
東館全室を一棟丸ごとぬくもり感じるモダンな客室にリニューアル

宮城県/作並温泉
鷹泉閣 岩松旅館
ダイニングの新設や客室ベッド化など生産性向上と運営改革を目指す

長野県/別所温泉
南條旅館
「シック&モダン」をテーマにロビー改装と食事処整備でイメージアップ

新潟県/越後長野温泉
嵐渓荘
庭園を整備し、川辺のテラスでイベントを企画。ラウンジフロアを舞台に自然を活かした商品づくりを実施

富山県/魚津市
金太郎温泉
和風ツイン客室とコンセプトダイニングを新たに整備。「更なる個人客化への対応」をコンセプトに商品整備を加速

兵庫県/宝塚温泉
ホテル若水
客室改装で商品力アップ。ニーズに合わせた和室のベッド化で満足度向上と単価アップを図る

長野県/小諸市
脇本陣の宿 粂屋
江戸時代の脇本陣を、伝統と格式をそのままにリノベーション。歴史文化を感じる宿に生まれ変わり

自館の価値を高めるワンランク上のおもてなしへ

第33回 サービス技能向上講座
『接客ステップアップ 編』開催

【講座会場】群馬県／磯部温泉　磯部ガーデン
【日　　程】2月20日（木）～21日（金）
【受講対象者】接客担当者、教育担当者、経営者、支配人、幹部・リーダー
【受講料（税込）】36,000円（税込）　◎旅研くらぶ会員 特別料金 31,000円（税込）
1施設から2名様以上でご参加の場合は、1名様につき5,000円割引

次回以降のご案内
幹部育成講座「幹部としての考え方を学ぶ」　5月20日（水）～22日（金）〔会場／ホテル翔峰〕
サービス技能向上講座「接客基礎・料理提供編」　6月 9 日（火）～10日（水）〔会場／ホテル鐘山苑〕
サービス技能向上講座「マネージャー・フロント編」　9月23日（水）～24日（木）〔会場／ゆのくに天祥〕

新しい観光・レジャーを創造する
株式会社リョケン
〒413-0024 静岡県熱海市和田町16番1号
TEL 0557-83-2120（代）　FAX 0557-81-6246　e-mail:ryoken-contact@aap.co.jp
リョケン で 検索 ください。　https://www.ryoken-jp.com/

●経営診断　●財務改善　●経営協力　●販売促進　●施設整備　●商品計画　●再生支援　●料理開発　●組織運営　●人材育成　●接客研修　●講演

エイエイピーグループ
株式会社エイエイピー ☎054（284）6333（代）
株式会社プロフィックス ☎054（284）3300（代）
株式会社ミュゼオ ☎03（5846）0030（代）